

江別第一小学校の研究（R2年度）

学校教育目標から

「夢をいだき未来をひらく
江別第一小の子ども」

令和2年度学校経営方針

「学ぶ力」の確実な育成
～自ら学び
確かに学ぶ～

児童の実態から

（アンケートや学力テスト等の分析から）

- みんなと過ごすのは楽しい。
- 友達とともに学びたい。
- ▲自己肯定感が低い。
- ▲他と関わり合う力の不足
- ▲書く力が不足している。
（目的や条件に合わせて書く力）
- ▲立式の理由を考えたり、表や資料から読み取る力の不足。

教師の願いから

- ・自分の考えを表現する力を高めたい。
- ・基礎・基本の定着を図り、それを活用する力を高めたい。
- ・文章を読み取る力（読解力）を高めたい。

<目指す子どもの姿>

- ★自らすすんで学ぼうとする子
- ★自分の考えや思いを 根拠を明確にして適切に表現できる子
- ★友達との学びを通して互いに高め合える子

具現化するために

第一小 学びのキーワード

『つなぐ』

- ～知識をつなぐ
- ～思いをつなぐ
- ～心をつなぐ

- これまで学んできた知識や経験をつないで
- 自分や友達の思いや考えをつないで
- 仲間と心をつないで

研究の全体構造

【学校教育目標】
「夢をいただき 未来をひらく 江別第一小の子ども」
 ○思いやりを持ち 助け合う子
 ○すすんで学び よく考える子
 ○ねばり強く やりぬく子
 ○心もからだも たくましい子

【研究主題】

「自分の考えや思いを豊かに表現する児童の育成」
 ～読むことと書くことを関連付けた国語科の指導を通して～

《目指す子ども像》

- ・自らすすんで学ぼうとする子
- ・自分の考えや思いを 根拠を明確にして適切に表現できる子
- ・友達との学びを通して互いに高め合える子

<研究仮説>

読み取った内容を根拠として自分の考えを整理し、書く活動に取り組むことで、自分の思いを豊かに表現する力を高めることができるだろう。

具体仮説 1	具体仮説 2	具体仮説 3
・ 単元全体の指導計画を工夫し、表現を意識した言語活動を設定することで、見通しをもって学習に取り組むことができ、書くことに対する意欲が高まるだろう。	・ 文章や資料から必要な情報を見つけたり、読み取ったことを整理したりする学習活動に取り組むことで、内容をとらえる力が高まるだろう。	・ 目的や書きたいことを明確にし、根拠をもとに書く活動に取り組むことで、伝えたいことを適切に表現する力が高まるだろう。
研究内容 1	研究内容 2	研究内容 3
①ねらいを明確にした単元指導計画の工夫 ②言語活動の工夫 ③効果的なふり返りとその活用 ④交流の場の設定	⑤読み取ったことを的確に整理し、書くことにつながるノートやワークシートの工夫	⑥内容を整理し、自分の考えを明確にして書くための手立ての工夫 ⑦書くことスキル向上のための継続的な指導 ⑧評価について

関連づける

<他教科や日常の指導場面>

- 日常的な指導…根拠を明確にした自己の考えの表出
- 支持的・受容的な学級、学年の雰囲気
- 自己の思いや考えを伝えたいと思う場の設定
- 「読むこと」「書くこと」の思考を整理したり、可視化したりする際の有効な手立てとしてのICT機器の活用